

1-3④3) 都心部における生物多様性のあり方検討業務

委託者：独立行政法人都市再生機構

1. 調査の概要

近年、都市部における生物多様性保全などの環境配慮の重要性に対する社会的認知が高まっている。また、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、都市の魅力・国際競争力向上の観点から都市における生物多様性保全の取組等が求められている。こうしたことを背景に、都心部における生物多様性のあり方を調査研究するために本業務は実施された。

本業務では、外部有識者を含めた委員会を組織し、検討を進めた。

委員会による議論の結果、“人”と“生物”がうまく共存していくことが求められている都市部においては、生物多様性保全を単体で考えるのではなく、生物多様性保全を提供サービスの一つとし、その他多様な効果(良好な景観形成、気温上昇の抑制、雨水の流出抑制等)が期待できるグリーンインフラを展開していくことが有用との結論に達した。グリーンインフラの展開に向けて、緑分野の専門家以外にも理解できるようグリーンインフラの概念の整理を試みるとともに、グリーンインフラ導入のための具体的な手法や形態の提示に向けた検討を行った。